



『大』キャッチ プレス

Matsubara Daisuke Seto City Report

松原 大介

瀬戸市議会議員



2023年10月発行



Vol.17

5 小学校跡地の最新状況



旧道泉小学校校舎は
学校法人SOLAN学園に

校舎改修工事は、9月下旬から着工予定。2025年4月から義務教育学校（小中一貫校）となる見通し。運動場と体育館は引き続き市が管理し、地域が利用することになっています。



古瀬戸小学校跡地は
女子サッカー練習場に

女子サッカーなでしこリーグ1部の「朝日インテック・ラブブリッジ名古屋」の練習グラウンドになる予定です。校舎などの解体工事を9月から。完成は2024年6月予定。

深川小学校跡地は
子育て支援施設を中心に
集約する案を地元に提示中

市の提案を地元に提示し、これから協議が進む予定です。案では、深川公民館・発達支援室・せとっこファミリー交流館・ノベルティこども創造館を集約予定。



祖母懐小学校
跡地は住宅用地と
して再計画中

2022年7月、住宅地として一般競争入札を行いました。不調となりました。引き続き住宅用地として売却を検討中。



東明小学校跡地
は民間提案を踏まえ、
地元と協議中

民間事業者の提案・アイデアを踏まえ、地域の活性化に繋がる活用方針の策定に向け、地元住民と協議を進めている。

にじの丘学園は、児童生徒数増加により、今年度中に多目的室3室を普通教室に転用する工事を予定。また、令和7年度中に増築工事をする必要性が明らかになりました。



みんなと

しゃべくり広場

日時：10月18日（水）
19:00～20:30
道泉地域交流センター

テーマ

「瀬戸にあるものを活かす～〇〇編～」

瀬戸の何を活かしたらよいか、皆様のご意見をください！

日時：10月18日（水）19:00～20:30

場所：道泉地域交流センター

申し込み：不要です。当日に直接お越しください。

参加費：無料

一般質問のテーマとしてのヒント、
政策提案のヒントを皆様から
いただければと思います。

松原大介の一般質問



詳しくはこちら！

YouTube動画

瀬戸にあるものを活かす ～ごみ減量意識編～



現在、ごみ袋の値上げは「中止」ではなく、「凍結」された状態であり、今後のごみ減量の推移によっては、値上げの断行をせざるを得なくなることは十分に考えられます。

ごみ減量意識が、多くの市民の皆様とも共有され始めている今こそ、ごみ減量施策に対して、最小限の経費で最大限の効果をえられる時だと捉え、これからのごみ減量施策、特にプラスチック一括回収について質問しました。

（松原）本市の公共施設の考え方からも、「エコプラザ」を単独施設として復活させることは難しいと考えるが、市としてリユース機能を保持することは合理的な施策と考える。リユース機能を充実させるための検討は必要だと考えますが見解を伺います。



（市）リユース機能については、本市においてもその有効性について周知啓発するとともに、民間事業者との協力なども含め、様々な仕組みを検討し、その機能を充実させていくことが肝要である。

（松原）本市のプラスチック分別は、容器包装類は資源物袋に、ストローや歯ブラシなどの製品プラスチックは燃えるごみ袋に分けることになっている。市民に対するわかりやすさ、分別の簡易さに着目したとき、これらを一緒の資源物袋に入れるプラスチック一括回収は、合理的な手法だと考えるが見解を伺う。



（市）プラスチック一括回収は、製品と容器包装を分別する手間がなくなり、市民の皆様の負担感の減少に寄与するが、一方で回収後に分別する作業が必要となり、中間処理に掛かるコストが増加する課題がある。

「今」がごみ減量施策のアクセルを踏むべきタイミングです。プラスチック一括回収と、以前から主張しているプラスチックの週一回回収を実施すべきではないでしょうか。

松原大介応援クラブ

〒489-0055 愛知県瀬戸市滝之湯町24-1

TEL：0561-76-3153

Email：d.matsubara3153@gmail.com



facebook



松原大介応援クラブ
ホームページ

